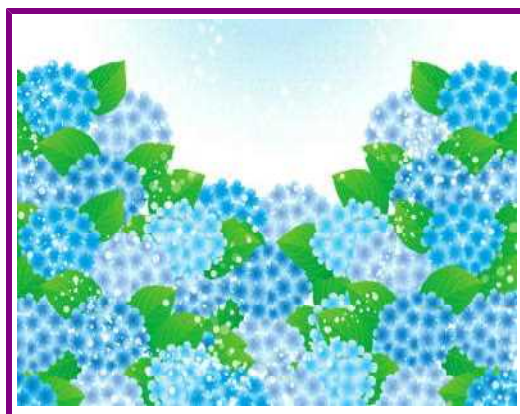


めぐみイエス・キリスト教会

2019年6月2日(日)第一主日礼拝
週報「通算第458号」



2019年標題聖句

第Ⅱペテロ1章10節

《ですから、兄弟たちよ。ますます熱心に、あなたがたの召されたことと選ばれたこととを確かなものとしなさい。これらのことを行なっていれば、つまりくことなど決してありません。》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～7時
聖書の学びと祈り会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2019年6月2日 第一主日礼拝

第一礼拝 午前10時 第二礼拝 午後6時

司会・奏楽 鈴木 竜実牧師 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌416 「聖霊来たれり」 p. 668

【交読文】 No.36 詩篇第116篇 p. 908

【賛美Ⅱ】 新聖歌222 「罪の深みに」 p. 336

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.5 「聖霊の風」

【聖書朗読】 ルカの福音書24章50節～51節(新約p. 156)

【祈 禱】

【説 教】 《主イエス様の昇天》 鈴木竜実 牧師

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

◎本日の聖書箇所【ルカの福音書24章50節～51節】(新約p.156)

24:50 それから、イエスは、彼らをベタニヤまで連れて行き、手を上げて祝福された。

24:51 そして祝福しながら、彼らから離れて行かれた。

●ポイント1. 使徒の働きにおける詳細とは？

※使徒の働き1章8節～12節「オリーブ山において」 (新約p.208下段)

1:8「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、私の証人となります。」

1:9 こう言ってから、イエスは彼らが見ている間に上げられ、雲に包まれて、見えなくなられた。

1:10 イエスが上って行かれるとき、弟子たちは天を見つめていた。すると、見よ、白い衣を着た人がふたり、彼らのそばに立っていた。

1:11 そして、こう言った。「ガリラヤの人たち。なぜ天を見上げて立っているのですか。あなたがたを離れて天に上げられたこのイエスは、天に上って行かれるのをあなたがたが見たときと同じ有様で、またおいでになります。」

1:12 そこで、彼らはオリーブという山からエルサレムに帰った。この山はエルサレムの近くにあつて、安息日の道のりほどの距離であった。

●ポイント2. 主イエス様による「昇天」の預言とは？

※ヨハネの福音書3章13節～14節「ニコデモへの言葉」(新約p.161下段)

3:13 「だれも天に上った者はいません。しかし天から下った者はいます。すなわち人の子です。」

3:14 モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子もまた上げられなければなりません。」

※ヨハネの福音書6章61節～62節「弟子たちへの言葉」(新約p.171上段)

6:61 しかし、イエスは、弟子たちがこうつぶやいているのを、知っておられ、彼らに言われた。「このことであなたがたはつまづくのか。」

6:62 それでは、もし人の子がもといた所に上るのを見たら、どうなるのか。」

●ポイント3. 「御使い」が十一弟子に示した旧約聖書の預言とは？

※ゼカリヤ書14章3節～4節「主の再臨される場所」 (旧約p.1432上段)

14:3 主が出て来られる。決戦の日に戦うように、それらの国々と戦われる。

14:4 その日、主の足は、エルサレムの東に面するオリーブ山の上に立つ。オリーブ山は、その真中で二つに裂け、東西に延びる非常に大きな谷ができる。山の半分は北へ移り、他の半分は南へ移る。

◎先週のメッセージの概要【彼らと食事を共にしている時】

《今日は、主イエス様が復活されてから40日間の間に、十一弟子たちと何回食事を共にしたのか、そのことについて考えて見たいと思います。

まず使徒ペテロが、百人隊長コルネリオに語った証しを見てみましょう。「私たちは、イエスがユダヤ人の地とエルサレムとで行なわれたすべてのことの証人です。人々はこの方を木にかけて殺しました。しかし、神はこのイエスを三日目によみがえらせ、現われさせて下さいました。私たちは、イエスがよみがえられて後、ご一緒に食事(別訳「食べたり飲んだり」)しました。」

つまり彼らはイエス様と共にパンを食べ、葡萄酒を飲んだことになります。さて、話を少し前に戻します。ルカの福音書における「最後の晚餐」です。ヨハネ・マルコの家の上階の大広間で、イエス様は「過越の食事」をします。「あなたがたに言いますが、過越が神の国において成就するまでは、私はもはや二度と過越の食事をすることはありません。今から、神の国が来る時までには私はもはや、あなたがたとぶどうの実で造った物を飲むことはありません。」

しかしペテロは、「イエス様と食べたり飲んだりした」と明確に証言しています。これは、どのような意味でしょう。つまり否定的に肯定されているのです。

イエス様の言われた真意は、よみがえった後、必ずあなたがたと共に食事をする、ということであり、必ず共に葡萄酒を飲む、という意味なのです。

主イエス様は、十一弟子たちに少なくとも4回にわたってご自身を現わされ、共に食事をされたのです。特に2回目の時には、十一弟子が食事をしていました。3回目は、ガリラヤ湖畔で、岸边において、ご自身が朝食を用意され、弟子たちと共に召し上がられたのです。そして4回目は、昇天されるその日のおそらく午前中もしくは昼食後、「最後の晚餐」を行なわれたエルサレムのヨハネ・マルコの家において、弟子たちと共に食事をされた後、オリブ山に弟子たちを連れて行ったのです。そして天に引き上げられたのです。『見よ。私は戸の外に立ってたたく。誰でも、私の声を聞いて戸をあけるなら、私は、彼の所にはいって、彼と共に食事をし、彼も私と共に食事をする。』》

◎お知らせ

※次回礼拝は6月9日(日)となります。6月16日(日)の第三主日礼拝は、メイン礼拝が午後礼拝(斉藤順子先生)となり、午前礼拝はメッセージはありません。また次回の「聖書の学びと祈り会」は6月5日(水)午後6時15分からです。